

ヤマト運輸成城支店

東京都世田谷区

設計・監理/フクダ・アンド・パートナーズ
施工/バコーポレーション



外観南西面*

概要・立地

本件は、ヤマト運輸の「拠点配置の最適化」と「地域住民の方との共生」というコンセプトを元に計画を行った。

建設地は世田谷通りから至近にあり、小田急線「成城学園前」からも徒歩10分程の位置で、利用者にとってのアクセス面でも輸送作業の面でも最適な立地となっている。

配置計画

前面道路は敷地西側の道路と北側の道路の2面に面しているが、西側道路の交通量が多いため、北側道路を運送車両の専用出入口とし、西側道路の交通渋滞に配慮している。西側道路と北側道路では最大約2.5mの高低差があったため、地盤の低い北側を階高が必要な配送ゾーン(3階建て)とし、地盤の高い西側、南側を事務所ゾーン(3階建て)とすることで、それぞれの用途による必要階高の不均衡を解消している。これにより1、2階の事務所内から配送ゾーンを広く見渡すことができ、オペレーションのしやすい環境を創出した。

建築計画

1、2階の配送ゾーンは低床式の配送センターとし、基本スパンは8.6m×6.55m、8.6m

×7.8mとした。限られた敷地の中で運用しやすい最適スパンをヤマト運輸と実車で軌跡を検証して決めた。

立地が閑静な住宅地であるため、配送車が上階に向け通行するスロープ(車路)には屋根・外壁を設け、配送車の騒音やヘッドライトの光を遮断する計画としている。

配送ゾーンの1階には世田谷区の災害備品を保管する倉庫を設け、有事の際には地域住民に協力できる施設を併設した。事務所ゾーンの1階にはスワンベーカリー*が出店し、日常的にも利用していただける施設を目指した。

また、敷地内に桜並木があったが地域住民に親しまれていたため、桜並木は可能な限り残し、スワンベーカリー前に設けた緑地帯、歩道状空地と併せて一体感のある緑豊かな環境を創出した。

一般的な物流施設の外観は無彩色や寒色の色調が多く、冷たいイメージとなりがちだが、事務所ゾーンのアクセントとしてアンバー系サイディングを用いることで、周辺の街並みやスワンベーカリーに馴染むよう、地域住民との共生を意識した色調とした。

最後に、本施設がヒトとモノを繋ぐ社会イン

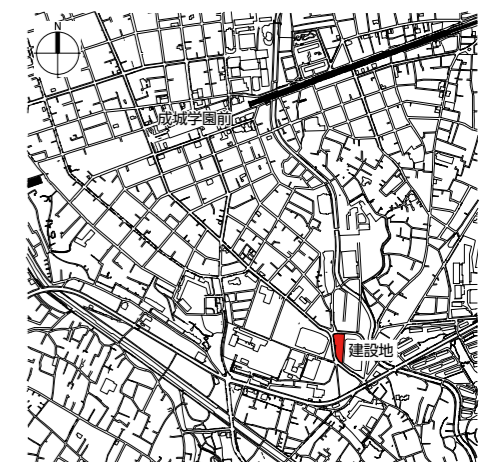
フラに寄与するとともに、地域発展の一助となることを心より期待している。

(河村雅博/フクダ・アンド・パートナーズ)

*スワンベーカリー(株式会社スワン):障がい者の自立と社会参加の支援を目的としたヤマトホールディングスの特例子会社



河村 雅博……かわむら まさひろ
1971年埼玉県生まれ。1994年類設計室入社。2016年フクダ・アンド・パートナーズ入社。現在同社設計・建設支援本部 設計第一部 課長



配置図 縮尺1/25,000



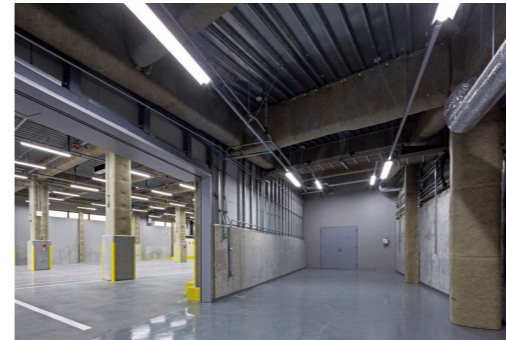
上/外観南面(夜景) 下/スワンパーカリー



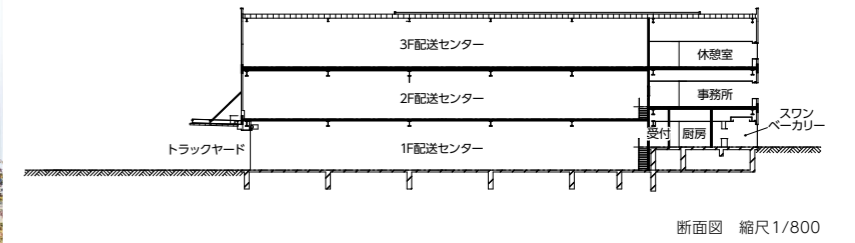
上/受付* 中/外観北面*
下/スロープ 屋根・外壁を設け、騒音やヘッドライトを遮断*



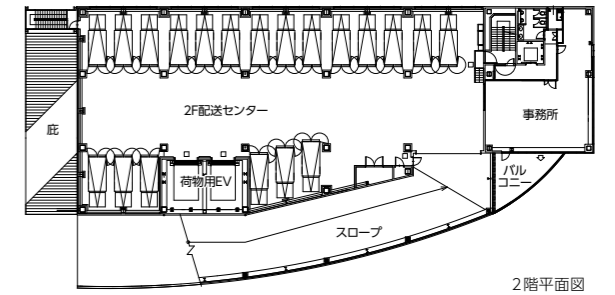
スワンパーカリー前の緑地帯



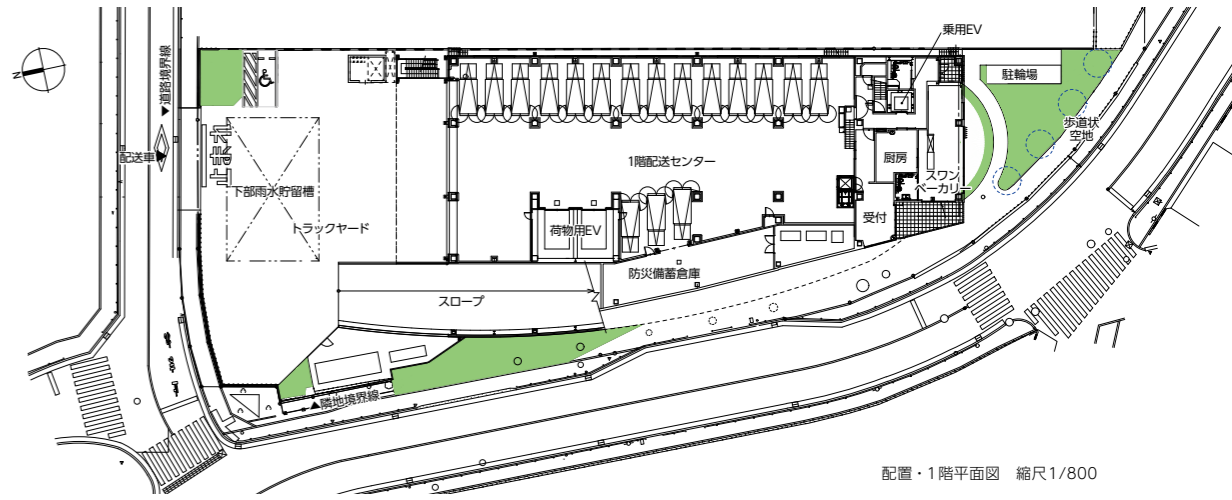
防災備蓄倉庫*



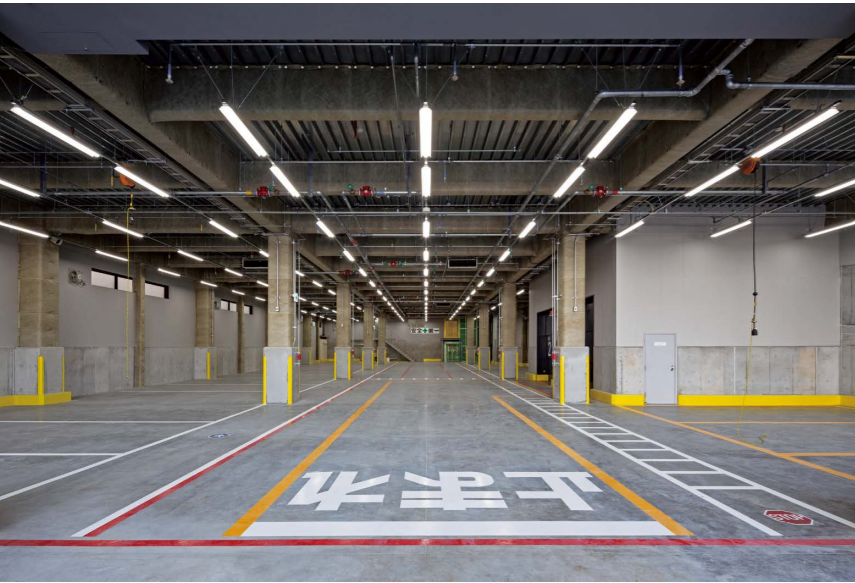
断面図 縮尺1/800



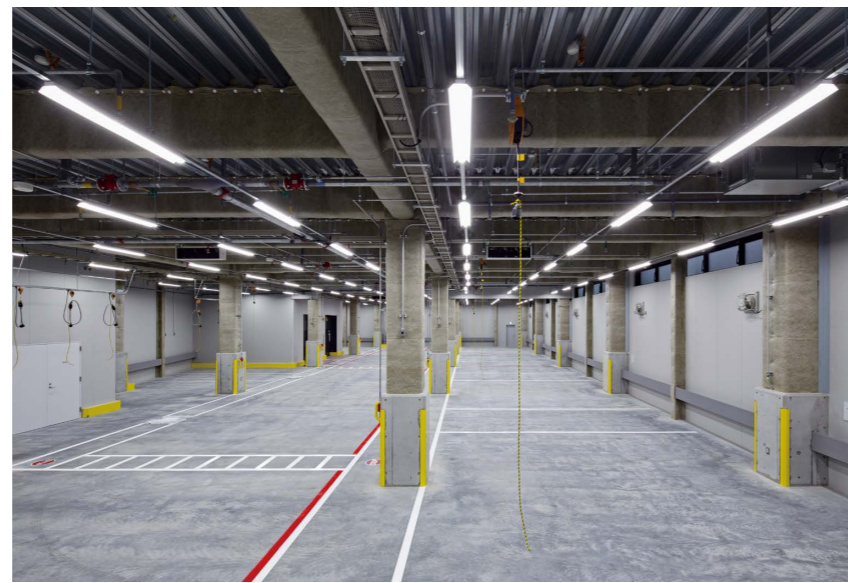
2階平面図



配置・1階平面図 縮尺1/800



1階配送センター*



2階配送センター*

ヤマト運輸成城支店 データ

所在地 東京都世田谷区成城1-4
主要用途 配送センター
事業主 ヤマト運輸株式会社
設計・監理 フクダ・アンド・パートナーズ
 担当/総括: 林 敬三 建築: 河村雅博、真田大介
 構造: 湯川 聡 設備: 鎌田光泰
施工 バコーポレーション
 担当/佐藤 茂、千葉聡彦、五十嵐敏幸、早津哉子、高林勝一、喜多村涼
設計期間 2017年7月~2018年2月
工事期間 2018年3月~2018年11月
[建築概要]
敷地面積 2,906.48㎡
建築面積 1,595.79㎡
延床面積 3,687.32㎡
建ぺい率 54.91% (許容60%)
容積率 95.18% (許容200%)
構造規模 S造、耐震構造、杭種別 PHC杭 地上3階
床耐荷重 10,000N/㎡
最高高さ 18.25m
軒高 15.20m
階高 1階5.4m、2階5.5m、3階4.85m
天井高さ 配送センター梁下有効 1~3階4.40m
主なスパン 8.60×6.55m、8.60×7.80m
構成 1、2階低床バース

配置計画 一般利用者と車両動線の分離
トラックバース数 40台
駐車台数 1台
想定最大車両サイズ 1階:大型10t車、2t車 2階:2t車
トラックヤード庇奥行 5.5m
道路幅員 西側11.20m、北側6.50m
地域地区 第二種住居地域
[設備概要]
電気設備 受電方式/高圧受電方式 変圧器容量/1φ75kVA、3φ500kVA、スコットトランス50kVA 予備電源/自家発電設備100kVA
空調設備 空調方式/空冷ヒートポンプマルチ方式
衛生設備 給水/増圧直結給水方式 給湯/個別式電気温水器方式 排水/建屋内汚水・雑排水合流方式
防災設備 消火/固定式泡消火設備、屋内消火栓、消火器 排煙/自然排煙設備
昇降機 乗用(11人乗)×1基、荷物用(4t)×2基
特殊設備 垂直搬送設備(積載荷重350kg×1台)
環境対策 LED照明、全熱交換器
[主な外部仕上げ]
屋根 ガルバリウム鋼板二重折板葺、断熱工法
外壁 角波サイディング
建具 アルミサッシ、スチールシャッター
外構 耐重型アスファルト舗装、砂利舗装
[主な内部仕上げ]
配送センター 床/コンクリート直均し、浸透性表面硬化

壁/コンクリート打ち放し補修、石膏ボード現し
 天井/デッキプレート現し
事務室 床/タイルカーペット 壁/ビニルクロス
 天井/化粧石膏ボード
スワンパーカリー 床/塩ビタイル 壁/不燃天然木、特殊左官材 天井/ビニルクロス

撮影/近代建築社(葛西 龍)
 *撮影/川澄・小林研二写真事務所 桑田瑞穂

協力会社

電気設備工事	富士電気工業
給排水衛生設備工事	ケイヨー水工
空調換気設備工事	カンクウ
泡消火設備工事	能美防災
昇降機設備工事	守谷輸送機工業
倉庫・土工工事	向井建設
外部土場仮設工事	K R H
型枠工事	榊組
鉄骨工事	メ イ
鉄骨階段工事	木森製作所
屋根・外壁工事	新生ビルド
防水工事	日本躯体処理
土間・左官・塗床工事	アストユニオン
鋼製建具工事	文化シャッター
O Aフロア工事	センクシア
プラスチック製雨水貯留槽	日東ジオテクノ
外構工事	三井住建道路